

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライクスクール		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和8年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種からの視点をういたチームアプローチを実施していること。	現在、児童発達支援管理責任者・教員免許保有者(小学校、中学校、高校)・保育士資格を保有している職員が在籍している。集団の中で過ごす児童の社会性や発達年齢、状態像等に応じて訪問支援員だけではなく、普段放課後等デイサービスで該当児童の現場支援にあたる職員も同行することで多職種からみた行動分析・支援構築を行っている。	引き続き、幅広い学齢期に合わせた支援構築ができるよう多職種からの視点をういたチームアプローチを継続していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援対象児童の大半が小学校高学年に分類されることや発達段階、性格などの観点から訪問支援として支援を受けることに対して抵抗のある児童が多い。	訪問支援のニーズの多くはご家庭から挙がるが多く、児童自身が必要性を感じていない場合も多い。	対象児童の年齢や性格、発達段階等に応じた支援方法の再検討を行う。また、ご家庭からのニーズに応じて、児童自身の心情にも寄り添い、児童自身に対しての説明や訪問支援の必要性について検討していく。
2			
3			